

Active

我孫子市立湖北小学校

研推だより

2025.6.20 No.5

発行者 菅家

今回のテーマ:指導と評価の一体化について(パート2)

前回の No.4でお伝えした「指導と評価の一体化について」の効果的な指導・評価の例を紹介したいと思います!!

1. 効果的な指導・評価

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、教師の主観や感覚にたよりがちです…。

その評価をより客観性のあるものにするために有効な手立てが、「振り返りシート」と「ルーブリック評価」です。

○振り返りシート

ポートフォリオシートを参考に作成し、単元の学習の前後で思考の変容があったことがわかるようにしたもの。

児童が書いた学習履歴に対して、教師がコメントをしたり、花丸をつけたりし、返却する。

良い点

- ①繰り返すことで、児童の学習の質を高めるとともに、教師は授業の評価と改善を行うことができる。
- ②「学習を振り返る」ことで、児童自身が自分の変容に気づくことができる。
- ③評価の際にも客観的資料になります。

○ルーブリック評価

学習の達成度を可視化し、評価基準を明確にするための評価方法。

評価基準を表形式で示したもの。(A,B,C の評価を言葉で表し、示すもの。)

良い点

- ①目標が明確になり、児童が何を考え表現すればいいのかがわかる。
- ②目標がはっきりしているため、児童に「学習がわかった」という実感をもたせることができる。
- ③点数化が難しい評価について、主観や感覚に頼らない質的評価ができる。

以上2つには、このような特徴があります。

2. 湖北小の研究について

「どんな姿が主体的と言えるのだろう…」というのが、今大きな疑問だと思います。

まずは、教師が「主体的な姿」を明確にするために、ルーブリック評価の文章を考えてみたらどうかと考えました。試しに6年生の国語と算数でルーブリック評価を子どもたちに示してみました。裏面がその文面です。

国語：単元「パネルディスカッション」

A	学習の見通しをもち、パネルディスカッションですすんで話し合いをするために、湖北小の課題について自ら考えたり、友達と話し合ったりして、グループの意見をよりよいものにしようとしている。
B	学習の見通しをもち、パネルディスカッションですすんで話し合いをするために、湖北小の課題について考えたり、友達と話し合ったりしている。
C	湖北小の課題について自分で考えようとしていない。パネルディスカッションに向けての準備やパネルディスカッション本番に参加しようとしていない。

算数：単元「分数のわり算」

A	学習したことのポイントを理解できるように、自分の力に合わせて問題解決の仕方を工夫している。また、友達の説明でよかったところなどについても考えながら学習に取り組んでいる。
B	学習したことのポイントを理解し、苦手なところをどう克服するか考えながら学習に取り組んでいる。
C	学習したことのポイントを理解していない。

子どもたちは、やはりAを目指したいという気持ちが強いようです。意欲的な言葉や行動、発言に表れるようになってきました。

職員会議でもお話ししようと考えていますが、この「ルーブリック評価」を湖北小でも取り入れていきたいと考えています。27日(金)に研推を開きます。よろしくお願いします。